

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援
------	----------------------------------

施策の内容	働き続けたい女性が能力を発揮し、生き生きと働けるよう、女性の能力開発やネットワークづくりなどを支援します。
-------	---

76		数値目標	《指標》働く女性向け交流会の開催回数と参加者数 ※()は当該年度の目標値					目標値	
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	H31	H32		H33
		—		(年0回) (年0回) 年0回 年0回	(年1回) (年7人) 年0回 年0回	(年1回) (年10人)	(年2回) (年20人)	(年2回) (年30人)	年2回 年30人
H30事業計画	イクボス研修実施時に従業員の参加も促し、研修後に参加従業員どおしの交流会を開催								
H30事業計画に関する具体的な目標	交流会でのコメントを参加企業にフィードバックするだけでなく、ホームページ上でも紹介								
H30事業実績	未実施								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果									
事業の実施状況を踏まえた課題	イクボス研修ではほぼ男性参加者となっており、アプローチの仕方を再検討する必要あり								

77		数 値 目 標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30 事業計画	①従業員の育成に取り組む企業を対象とした助成を実施し、利用促進に努める。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①産業振興支援補助金の補助メニューのひとつである「人材育成」について、企業にPRし、女性を含めた従業員の育成について支援する。							
H30 事業実績	産業振興支援補助金（人材育成）利用件数：29件 女性を対象にした人材育成 5社 6人 うち、技術系の資格試験・研修受講者 2社 2人 リーダー研修等受講者 なし							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	産業振興支援補助金の補助メニューのうち、最も利用件数の多い「人材育成」に関し、一般的に男性の資格取得による申請が多いものの、なかには、技術系資格を取得する女性を対象とした申請も見受けられ、女性の職域拡大及び就労継続に向けた環境整備に対し、徐々に成果を上げている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	産業振興支援補助金や企業訪問での聞き取りを通じたニーズ調査により、引き続き支援に取り組む。							

施策の内容	子育て、介護などにより離職した女性の再就職、起業・創業などの支援を行います。
-------	--

78		数 値 目 標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30 事業計画	①かがわ産業支援財団と連携し、創業にかかる相談を含め、経営上のあらゆる相談に対し専門員が対応する「よろず丸亀サテライト」を実施する。 ②創業後間もない方の販路開拓に対して助成支援を実施する。 ③創業支援各関係団体と連携し、創業支援体制を構築する創業支援事業計画を策定し、フォローアップを図る。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①「よろず丸亀サテライト」を毎月1回市内で開催する。 ②産業振興支援補助金の補助メニュー「創業」について企業に周知、利用促進を図る。 ③「創業支援事業計画」を年内に策定し、創業相談の充実を図る。							
H30 事業実績	①「よろず丸亀サテライト」を毎月1回、計12回実施。 女性の利用者 5名 ②産業振興支援補助金の補助メニュー「創業」利用件数：11件 うち、女性の創業者 5名 ③「創業支援事業計画」を29年度に策定。 創業支援事業計画に基づく創業相談件数 21件 うち、女性の創業相談件数 9件 うち、実際に創業した女性起業家 2名							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	各種の支援施策を通じて、女性の起業促進に一定の成果を上げられた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	女性は、一般的に男性よりも開業率が低く、家事・育児との両立や資金調達が困難であることから、創業に至らない者が多い。施策を逐次見直し、支援対象者の要望に沿うよう、検討していく必要がある。							

施策の内容	働きたい女性、働く女性の悩みや困りごとなどの解消につながる相談事業を実施します。							
79		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	・ハローワークのマザーズサロンや、仕事と育児・介護の両立のために役立つ情報を、女性に対するヒアリング実施時に参加者に提供。							
H30事業計画に関する具体的な目標	・提供者50人以上。							
H30事業実績	・子育て支援施設利用者へヒアリングを実施（7月に4施設30人、10月に6施設62人） ・10月のヒアリングでは、希望者に県事業の再就職セミナー紹介を行った。仕事と家庭の両立、男性の育児休業奨励金制度の周知を行った。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	働きつづけたい女性、働きたい女性の悩みや困りごとなどの解消につながる情報提供が行えた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	子育て中の住民を対象とした取り組みであり、子どもを持たない人へのアプローチ方法の構築に課題がある。							

80		数値目標						
担当課	産業振興課(産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	①企業訪問時において、働く女性の実態やニーズの情報収集を図る。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①企業訪問時において、働く女性の実態やニーズの情報収集を図る。							
H30事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は、延べ287社（H31.3.20時点）訪問。 ・経営上の課題は、人手不足を挙げる企業が多く、次いで市場の衰退である。 ・訪問企業の4割が人材を募集中であるが、慢性的な人材不足により、応募する者がそもそも少なく、常時募集を掛けている状態の企業も見受けられる。 ・一部の製造業に製造ラインや設計業務への女性登用が見受けられ、女性の職域拡大の動きが徐々に広がっている。 ・小規模事業者の中には、一族経営の組織構成により福利厚生や女性支援の取り組みが不十分な者が見受けられるが、全体的には、規則改定等の取り組み実施に前向きな動きである。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	企業の現状把握に努められている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	企業訪問に関し、訪問先の業況及び経営課題・戦略、設備投資や市への要望等の聞き取り及び市や関係機関の支援施策の紹介や企業ニーズの施策への反映といった多様な産業振興に関する内容を第一義的な目的としており、訪問面談時の限られた時間で、上記に加えてワークライフバランスについてを汲み取るのは厳しいが、今までと同様に、継続して実施していく。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援
----------	----------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	子育て支援施設利用者へヒアリングを実施し、再就職セミナーの紹介を行った。また、仕事と家庭の両立、男性の育児休業奨励金制度の周知を行うなど、労働環境整備に向けた取り組みを進めている。
産業観光課長	A⇒ A	産業振興支援補助金は1事業者の年度における申請は1回であるところ、人材育成メニューを選択する事業者が一定数あることから、効果が認められる。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
A	ハローワーク丸亀内にマザーズサロンがあるのは他市町に比べ有利。国・県の施設を最大限に有効活用し、更なる高みを目指すことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受け
 ることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進
----------	---------------------------

施策の 内容	性別を理由とする採用、配置、昇格などにおける差別的取り扱いやセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなどが行われない職場づくりを促進します。
-----------	--

81		数 値 目 標	現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
担当課	職員課		/	/	/	/	/	/	/
H30 事業計画	・現在、採用・人事異動については、性別に関係なく実施しているが、引き続き女性職員の管理職への登用についても、女性活躍支援研修など、フォローアップをしながら積極的に進める。また、各種ハラスメントのない職場づくりについては、安全衛生委員会等の活動を通じて、全庁的な取り組みとして啓発していく。								
H30事業計画に関する 具体的な目標	①女性活躍支援研修の実施（延べ120名程度）。 ②予め昇任後に必要となる知識やスキルの研修を受講させるステップアップ研修を設定し、派遣する（女性リーダーのためのマネジメント研修など）。								
H30 事業実績	これまでの女性リーダーのためのマネジメント研修等に加え、女性活躍支援研修を開催し、64名（2年間延べ134名）の参加を得た。また、ハラスメントについては、「ハラスメント防止等に関する指針」を策定した。								
目指すまちの姿 に対して、事業実施により得られた効果	女性の管理職への登用や、働きやすい職場環境づくりに資する下地作りができたと考えている。								
事業の実施状況を踏まえた課題	登用に関する不安感は依然大きいと考えられるので、引き続き女性活躍支援研修に取り組んでいくことや、ハラスメントが無く働きやすい職場環境づくりに取り組んでいきたい								

82		数値目標	《指標》セクシュアル・ハラスメントに対する取組について「特に何も行っていない」と回答した企業の割合 ※()は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H27	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			45.2%	—	—		(20.0%)		20.0%
H30事業計画	①男女共同参画推進研究会の平成29年度の活動内容（テーマ：ワーク・ライフ・バランス推進のためのハラスメントの防止）について、市ホームページなどで広報する。 ②ハラスメント防止について、情報発信を行う。								
H30事業計画に関する具体的な目標	①1回。 ②「ワーク・ライフ・バランス通信」による情報発信1回。瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会からの情報発信1回。								
H30事業実績	市内企業からの情報収集等を目的に、産業観光課の企業訪問員に同行し、男性の育休取得奨励金制度の周知や仕事と家庭の両立制度などについての情報提供を実施（9事業所）。その際にセクハラ、パワハラ対策の実態についても伺う（特段の取り組みをしていない事業所が多いなか、定期的なコンプライアンス研修実施後に従業員の面談で相談受付等を行っている事業所もあった）								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	企業の取り組みが遅れている、実態を十分につかんでいないことがわかった。								
事業の実施状況を踏まえた課題	セクハラ、マタハラが悪いことであると理解しているが、自分たちは注意しているから大丈夫という理由なき自信が取り組みを遅らせている。								

83		数値目標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	①改正育児・介護休業法や育児・介護の両立支援など、国や県の制度についてホームページ等に掲載し、企業に情報提供を行う。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①市産業振興課の事業者向けホームページ上で育児・介護の両立支援制度を常時、継続して掲載し情報提供を行う。							
H30事業実績	①産業観光課の事業者向けホームページ上で育児・介護の両立支援制度を掲載し情報提供に努めたほか、企業訪問の際に男女共同参画室職員が同行（8社）し、企業の代表者等に直接男性の育児休業取得促進奨励金制度・女性活躍推進法等の説明を行った。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	ホームページでの掲載だけでなく、企業へ直接説明した事で、より育児・介護に関する法制度の周知に繋がった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	訪問企業の中には、育児休業取得の促進や就業規則を改定する動きが見受けられる事から、産業振興支援補助金等の施策を通じて上記の福利厚生事業に取り組む企業への支援をしていく。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進
----------	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
職員課長	B⇒ B	女性活躍支援研修を行ったことで、管理・監督職登用を前向きにとらえる職員が増えたことに加え、ハラスメント対策の拡充の効果が徐々に出るものと期待している。
人権課長	C⇒ C	市内には中小企業や家族経営の企業が多く、まだまだ労働環境の整備は進んでいないと考える。
産業観光課長	B⇒ B	ホームページ等への掲載は実施しているが、さらに市が実施する各種イベントや企業訪問員による情報提供も行うことで効果向上を図る必要がある。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	市内の中小企業には、制度として明文化していないが、男女が働きやすい配慮ができている会社もある。そうした会社へ、持続可能な働き方への支援をするなど、ホームページ以外のツールを有効活用し、一歩先を見据えた取り組みを検討されることを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【3】 女性の職域の拡大
------	--------------

施策の内容	建設業、造船業、運輸業などの女性の参画が進んでいない業種において、女性の就業と定着を促進します。
-------	--

84		数値目標	現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
担当課	人権課男女共同参画室		/	/	/	/	/	/	/
H30事業計画									
H30事業計画に関する具体的な目標									
H30事業実績									
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果									
事業の実施状況を踏まえた課題									

85		数値目標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	①職場環境の整備に取り組む企業に対し助成（産業振興支援補助金（職場環境改善））支援する。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①産業振興支援補助金の補助メニューのひとつである「職場環境改善」において、女性登用や女性活躍を推進する取り組みにかかる経費を補助対象に加え支援する。							
H30事業実績	産業振興支援補助金（職場環境改善）利用件数：5件 中讃勤労者福祉サービスセンターへの新規加入が1件、その他ICTシステムの導入が4件あり、女性登用や女性活躍を推進する取り組みに利用した企業は無かった。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	補助金メニューのうち、「職場環境改善」に関しては女性活躍等の取組みに関する利用が無いものの、「人材育成」を利用し、女性の技術系資格取得に取り組む事業所が見受けられ、間接的には、女性の参画が進んでいない業種への就業と定着への効果が得られた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	慢性的な人材不足が、企業の喫緊の課題であり、女性に限らず、男女ともに、建設業や製造業での採用が難しい状況である。							

施策の内容	市役所において男性中心の職種、職場と考えられてきた分野でも、平等な取り扱いと成績主義の原則に基づき、女性の採用、登用を行います。
-------	--

86		数値目標						
担当課	職員課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	・男女の区別なく採用や登用を実施するとともに、市職員としてのキャリアデザインを支援する研修を行う。							
H30事業計画に関する具体的な目標	・キャリアデザインに資する研修に派遣する（一人ひとりが輝く働き方応援講座など）。 ・女性活躍支援研修の実施。							
H30事業実績	キャリアデザインに資する研修として「一人ひとりが輝く働き方応援講座」（女性1名）のほか、マネジメントに関する研修「人事管理基礎研修」（女性1名）・四国地区女性職員研修（女性1名）に参加した。女性活躍推進研修には、64名（延べ134名）が参加し、参加した人のアンケートでは自身のキャリアアップを前向きにとらえる人が増加した。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	研修の結果、キャリアデザインやに対する関心を高められたとともに、登用に関する不安が減ったことで、キャリアアップについて前向きな気持ちを持つようになったと考えている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	研修による前向きな気持ちを維持できるよう、不安を和らげるようなフォローアップ研修を始めとして、女性活躍支援研修に取り組んでいきたい。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【3】 女性の職域の拡大
------	--------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
職員課長	B⇒ B	女性活躍支援研修を行ったことで、管理・監督職登用を前向きにとらえる職員が増え、自身のキャリアへの意識が高まったと考えている。今後は、そうした職員がロールモデルとなることで、女性の職域拡大や登用につなげていきたい。
人権課長		—
産業観光課長	C⇒ B	事業者の職場環境改善に係る取組への支援は、女性にとって働きやすい環境実現を促すことになるため、一定の効果が認められる（再掲）。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	女性の職域拡大事例は少ないかもしれないが、そこからロールモデルを見つけ、うまく周知し、裾野の広がりを目指す取り組みを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【4】 農林水産業、商工業などの自営業に従事する女性への支援
------	--------------------------------

施策の内容	農林水産業における男女共同参画意識が確立するよう、学習機会の提供、働きやすい環境の整備などの支援を行います。
-------	--

87		数値目標	《指標》女性認定農業者数 ※()は当該年度の目標値						
担当課	農林水産課		H27	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			10人	(12人) 14人	(12人) 15人	(13人)	(13人)	(14人)	14人
H30事業計画	①農林水産業における男女共同参画意識が確立するよう、農業簿記等の学習会を広く周知し、学習機会の提供により、農業経営における地位の向上を目指す。 ②男女が働きやすい環境への整備を支援し、女性認定農業者の育成と家族経営協定の締結を推進する。								
H30事業計画に関する具体的な目標	①農業簿記等学習会の開催により学習機会の提供を行う。 ②女性認定農業者 14人→15人。								
H30事業実績	①農業簿記等学習会を30回開催し、男性だけでなく多くの女性農業者の参加もあった。 ②女性認定農業者 1人増								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	学習会への参加により農業簿記等の知識を深め、女性自ら農業経営に参画することで、農業分野における地位の向上が図られた。								
事業の実施状況を踏まえた課題	農業分野全体から見ると男女共同参画意識の確立は十分とは言えない。今後も関係機関と連携して普及啓発に努める。								

施策の内容	関係団体と連携し、商工業など自営業の女性のネットワーク構築や学習機会の提供を行います。							
88		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画								
H30事業計画に関する具体的な目標								
H30事業実績								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題								

89		数値目標						
担当課	産業振興課(産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H30事業計画	①丸亀商工会議所や丸亀市飯綾商工会と連携し、自営業に従事する女性の情報収集や支援制度の周知を図る。							
H30事業計画に関する具体的な目標	①商工会議所・商工会を通じて、自営業に従事する女性の情報収集を図り、各種支援制度の周知を図る。							
H30事業実績	丸亀商工会議所及び丸亀市飯綾商工会に産業振興支援補助金のパンフレットを配布。また、総会等で周知してもらった。 ・丸亀商工会議所 全会員数1607社 うち、女性が代表者と思われる会社 約200社 女性代表者率12.4% ・丸亀市飯綾商工会 全会員数411社 うち女性が代表者の事業所17社 女性代表者率4.1% ・女性が代表者の会員事業所のうち、産業振興支援補助金利用事業所7社							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	商工会議所・商工会を通じ、女性経営者に対し、施策の周知・支援を行うことができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	今だ支援施策の周知が十分とは言えない為、関係各機関を通じて周知の徹底を図る。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【4】 農林水産業、商工業などの自営業に従事する女性への支援
------	--------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長		—
産業観光課長	B⇒ B	丸亀商工会議所、丸亀市飯綾商工会及び香川県よろず支援拠点と連携し、女性専門家及び女性先輩創業者を迎えたセミナー実施により、創業への関心が高い女性の存在を把握することができている。
農林水産課長	B⇒ B	女性農業者自身の意識変化はあり、男女共同参画への理解は進んでいると思われるが、農業分野全体を見ると男女共同参画の必要性について浸透しているとはいいがたく、今後とも継続して誰もが働きやすい環境への整備を支援していく必要がある。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	自営業で働く女性のキャリアデザインが描けるようロールモデル交流等の支援を望む。そのほか、女性は6次産業化に向いているので、体に良い物を食べさせたい母と農業者をつなぐような仕組みづくり、支援の検討も望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。